

中医協 総-1-4-1
5 . 1 1 . 1 0

中医協 検-4-1
5 . 1 1 . 1 0

かかりつけ薬剤師・薬局の評価を含む調剤報酬改定の影響及び実施状況調査報告書(案)

<概要>

調査の概要①

1 調査の目的

- 令和4年度診療報酬改定において薬局薬剤師業務の対物中心から対人中心への転換を推進するため、薬局・薬剤師業務の評価体系の見直し、薬剤師のかかりつけ機能の評価推進のため、重複投薬解消の取組の評価、地域支援体制加算の要件及び評価の見直し、対人業務に係る薬学管理料の評価の見直し、効率性等を踏まえた薬局の調剤基本料の適正化、オンライン服薬指導の評価の見直し等を行った。
- これらを踏まえ、本調査では、改定に係る影響や、かかりつけ薬剤師・薬局の取組状況等について調査・検証を行った。

2 調査の対象及び調査方法

本調査では、「① 保険薬局調査」「② 診療所調査」「③ 病院調査」及び「④ 患者調査」の4つの調査を実施した。各調査の対象は、次のとおり。

① 保険薬局調査

地域支援体制加算の届出を行っている保険薬局の中から無作為抽出した1,000施設と、地域支援体制加算の届出を行っていない保険薬局の中から無作為抽出した1,000施設の計2,000施設を調査対象とした。

② 診療所調査

地域包括診療料の届出施設(悉皆)と、地域包括診療加算の届出施設の中から無作為抽出した診療所、小児かかりつけ診療科の届出施設の中から無作為抽出した診療所合わせて1,000施設を調査対象とした。

調査の概要②

2 調査の対象及び調査方法(続き)

③病院調査

特定機能病院(悉皆)と、地域包括診療料の届出施設(悉皆)及び、それ以外の病院の中から無作為抽出した病院合わせて1,000施設を調査対象とした。

④患者調査

前記「① 保険薬局調査」の対象施設の調査期間に来局した患者2名を調査対象とした。そのうち、かかりつけ薬剤師指導料に同意している患者1名(いる場合のみ)と、かかりつけ薬剤師指導料に同意していない患者1名を調査対象とし、調査客体数は最大で4,000人(2×2,000施設=4,000人)とした。

3 調査方法

本調査の「①保険薬局調査」「②診療所調査」「③病院調査」は、郵送発送による自記式アンケート調査方式により実施した。回答は、紙媒体(IDを印字した調査票)に記入後、郵送返送する方法と、専用ホームページより電子調査票をダウンロードし、入力の上、メールへの添付により返送する方法から選択できるようにした。

「④ 患者調査」について、自記式調査票(患者票)の配布は、上記①の対象施設(保険薬局)を通じて行い、回収は事務局宛の専用返信封筒により患者から直接郵送で行った。

調査実施時期は、令和5年7月31日から9月15日であった。

調査の概要③

4 回収結果

- 保険薬局調査の有効回答数(施設数)は1,008件、有効回答率は50.4%であった。
- 診療所調査の有効回答数(施設数)は398件、有効回答率は39.8%で、病院調査の有効回答数(施設数)は348件、有効回答率は34.8%であった。
- 患者調査の有効回答数は、1,039件であった。

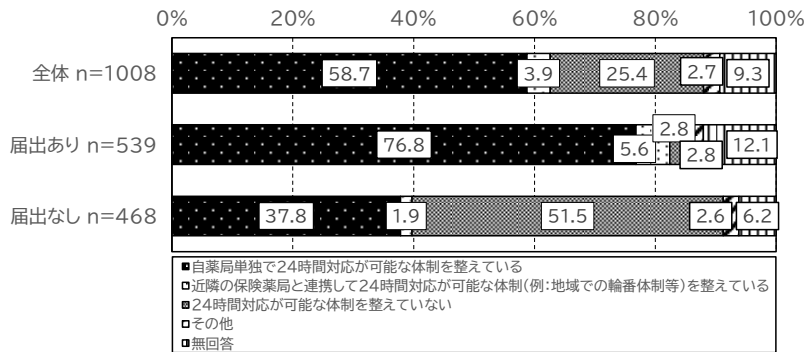
	発送数	有効回答数	有効回答率
保険薬局調査	2,000件	1,008件	50.4%
A.地域支援体制加算の届出あり施設	1,000件	539件	53.9%
B.地域支援体制加算の届出なし施設	1,000件	468件	46.8%
診療所調査	1,000件	398件	39.8%
D.地域包括診療料の届出施設(悉皆)	226件	81件	35.8%
E.地域包括診療加算の届出施設または小児かかりつけ診療料の届出施設	774件	317件	41.0%
病院調査	1,000件	348件	34.8%
F.特定機能病院(悉皆)	88件	70件	79.5%
G.地域包括診療料の届出施設(悉皆)	50件	17件	34.0%
H.上記F.G.を除く病院	862件	259件	30.0%
患者調査	—	1,039件	—

保険薬局調査の結果①

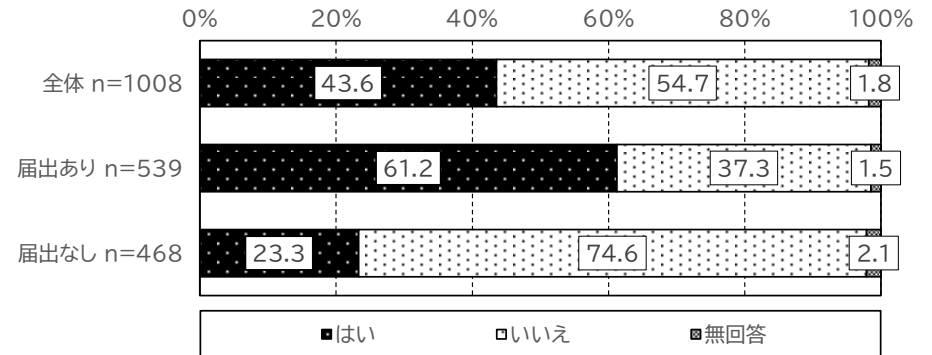
＜24時間対応が可能な体制の整備状況＞（報告書p46,57,58）

- 24時間対応が可能な体制の整備状況について、「自薬局単独で24時間対応が可能な体制を整えている」が最も多く、58.7%であり、地域支援体制加算を届出している施設においては76.8%であった。
- 夜間・休日の対応のための医療機関との連携体制を整えているか尋ねたところ、「はい」が43.6%、「いいえ」が54.7%であった。
- 在宅対応をしている場合、夜間・休日の対応のための訪問看護ステーションとの連携体制を整えているか尋ねたところ、「はい」が30.7%、「いいえ」が65.5%であった。

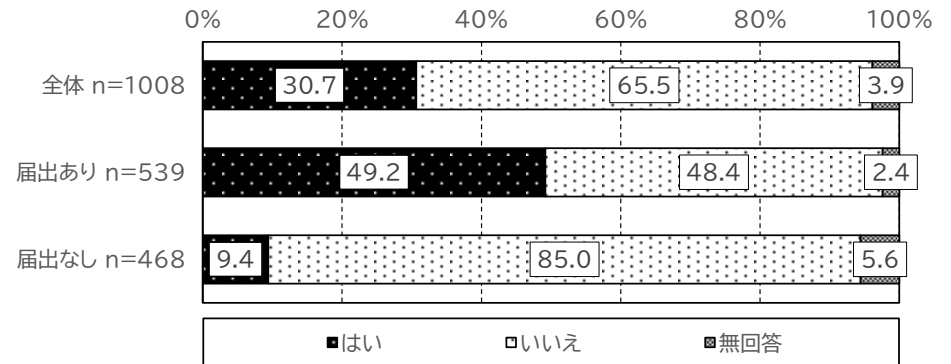
図表 2-57 24時間対応が可能な体制の整備状況（地域支援体制加算の届出有無別）



図表 2-74 夜間・休日の対応のための、医療機関との連携体制（地域支援体制加算の届出有無別）



図表 2-76 在宅対応をしている場合の、訪問看護ステーションとの連携体制（地域支援体制加算の届出有無別）

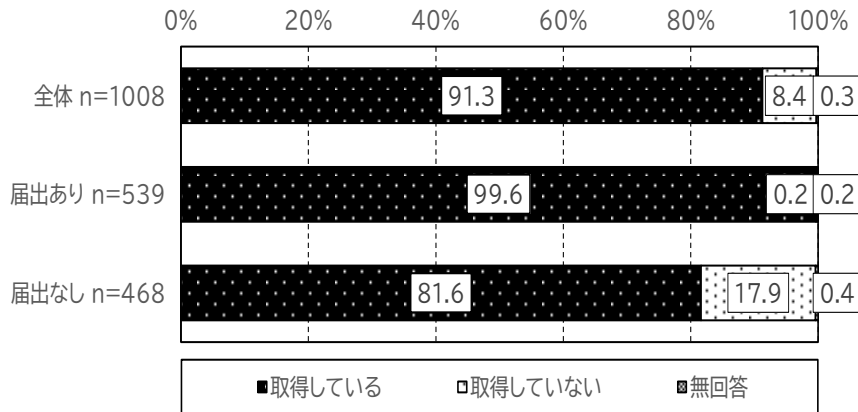


保険薬局調査の結果②

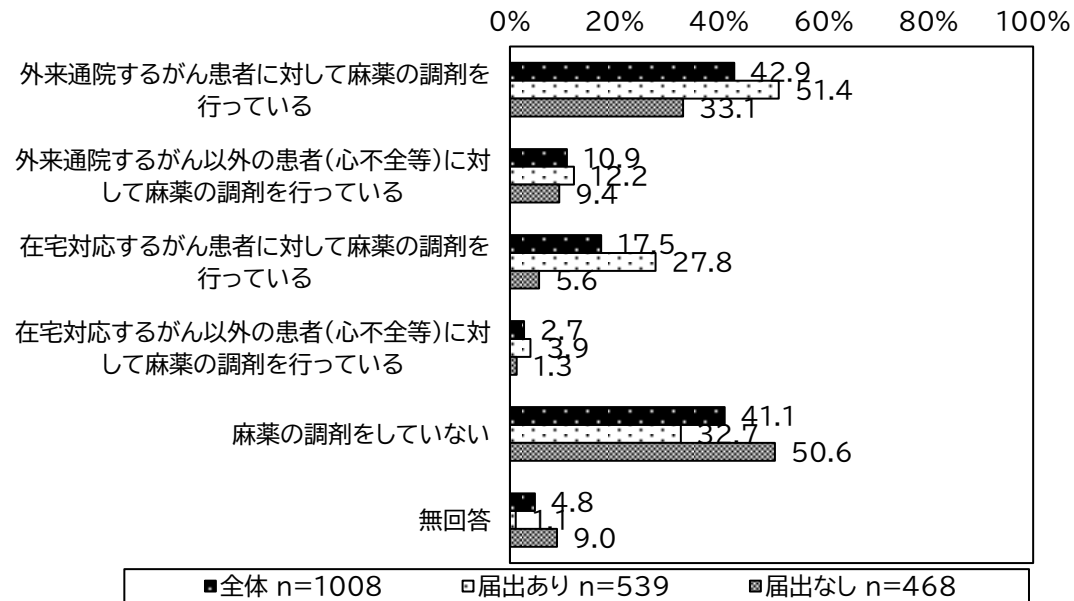
＜麻薬調剤の状況＞（報告書p93,95）

- 麻薬小売業者の免許の取得状況について尋ねたところ、「取得している」が91.3%、「取得していない」が8.4%であった。
- 麻薬の調剤の状況について尋ねたところ、「外来通院するがん患者に対して麻薬の調剤を行っている」が42.9%、「麻薬の調剤をしていない」が41.1%であった。

図表 2-134 麻薬小売業者の免許の取得状況（地域支援体制加算の届出有無別）



図表 2-137 麻薬の調剤の状況(複数回答)(地域支援体制加算の届出有無別)



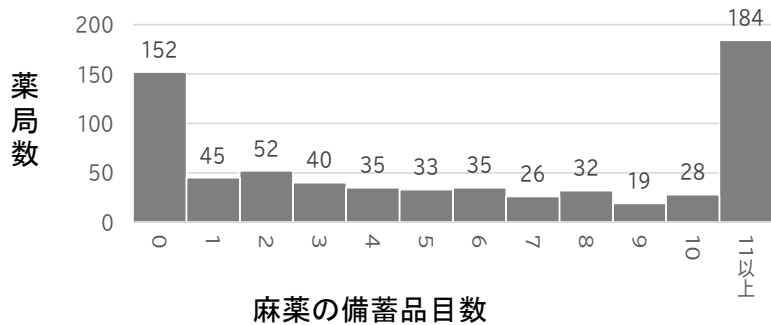
保険薬局調査の結果③

< 薬局における麻薬の備蓄の状況 > (報告書p128,137)

- 麻薬小売事業者の免許を取得している場合、麻薬の備蓄品目数等について尋ねたところ、以下のとおりであった。
- 麻薬小売事業者の免許を取得している場合(920施設)、麻薬の備蓄体制に関する課題を尋ねたところ、「患者の容体変化にともない使用する薬剤が変更となるため不動在庫が発生するリスクがある」が78.4%であった。

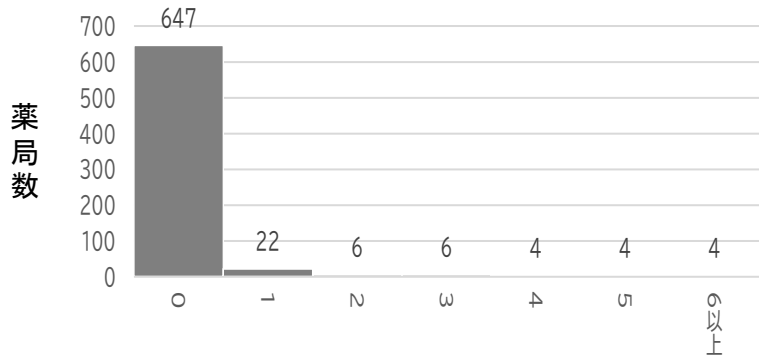
図表 2-168 麻薬の備蓄品目数のヒストグラム

麻薬の備蓄品目数の合計



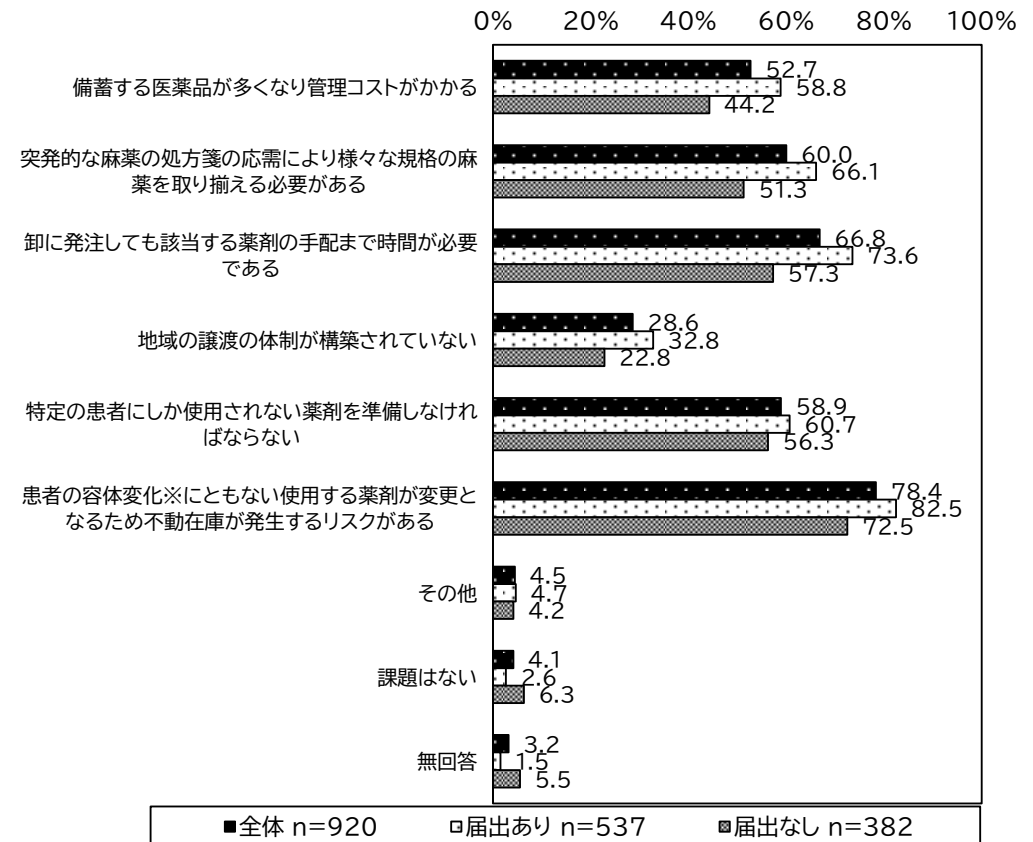
麻薬の備蓄品目数

麻薬（注射）の備蓄品目数の合計



麻薬（注射）の備蓄品目数

図表 2-169 麻薬の備蓄体制に関する課題
(麻薬小売事業者の免許を取得している場合)
(地域支援体制加算の届出有無別)



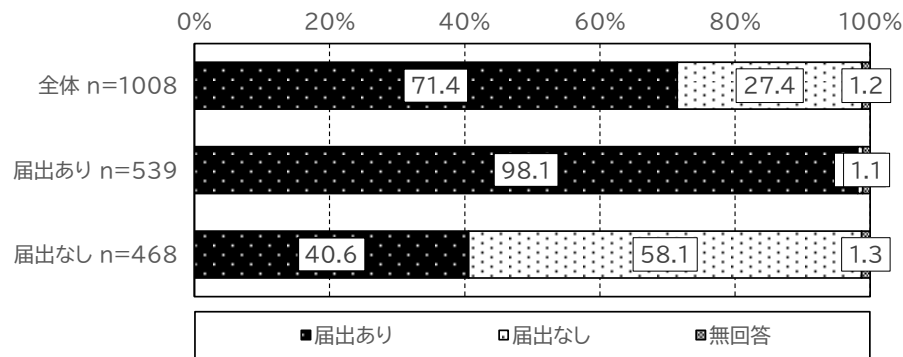
■全体 n=920 □届出あり n=537 ▨届出なし n=382

保険薬局調査の結果④

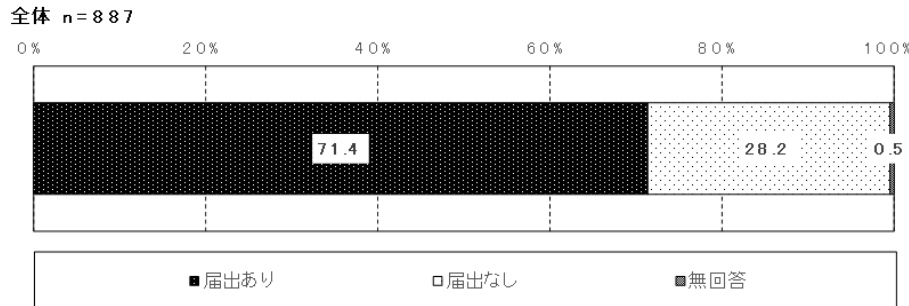
＜かかりつけ薬剤師指導料等の施設基準の届出状況＞（報告書p177,178,187）

- かかりつけ薬剤師指導料等の施設基準の届出状況をみると、「届出あり」の割合は71.4%であった。
- かかりつけ薬剤師指導料等の届出なしである理由をみると、「時間外の24時間電話相談が困難(人手不足等)であるため」が43.1%と最も多かった。

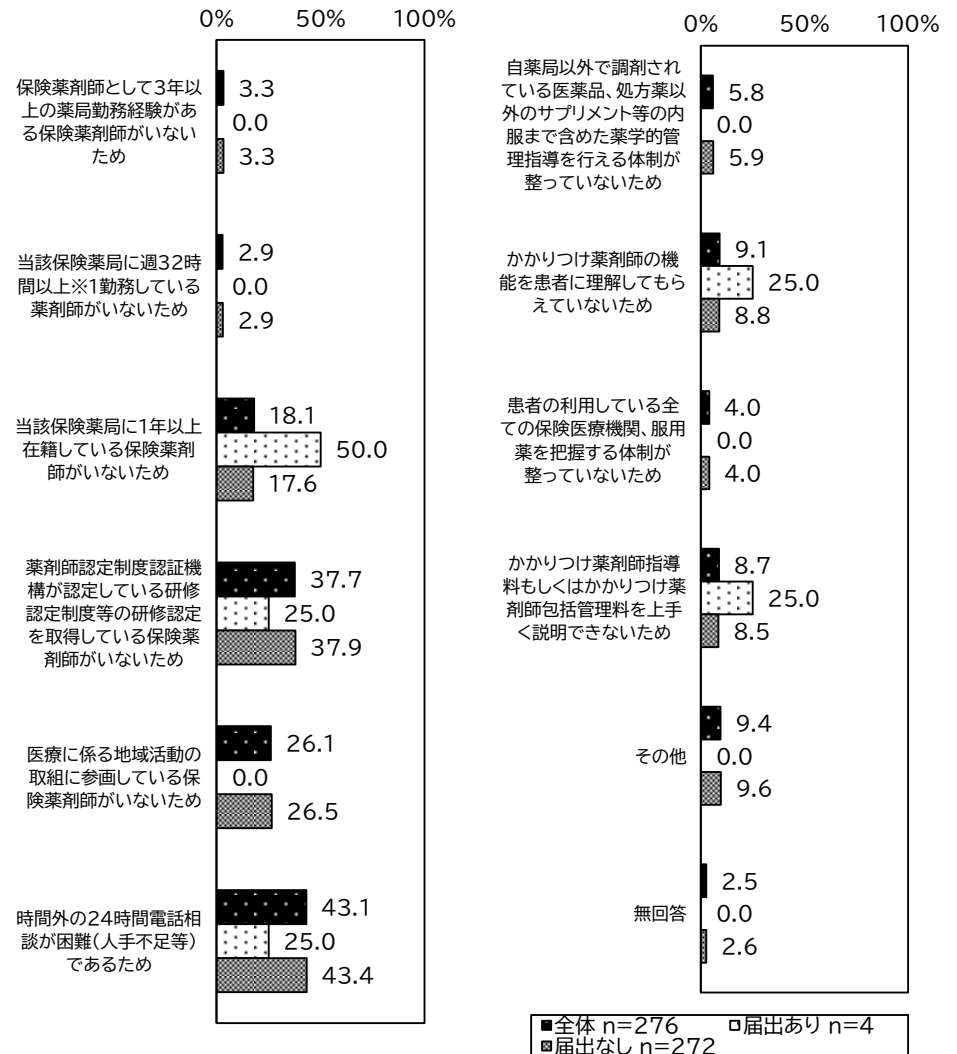
図表 2-211 かかりつけ薬剤師指導料等の施設基準の届出状況
(地域支援体制加算の届出有無別)



(参考) 図表 2-213 令和3年度調査(抜粋)



図表 2-220 かかりつけ薬剤師指導料等の届出なしである理由
(かかりつけ薬剤師指導料等の施設基準の届出なしの施設) (複数回答)
(地域支援体制加算の届出有無別)

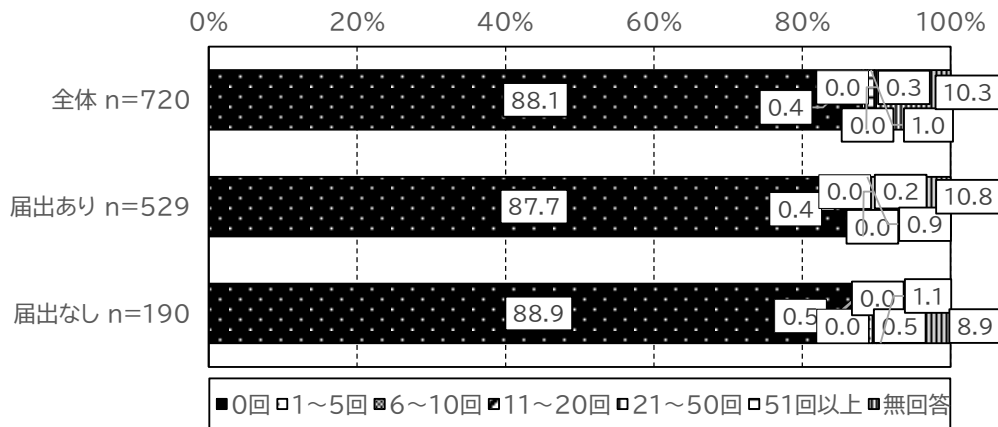


保険薬局調査の結果⑤

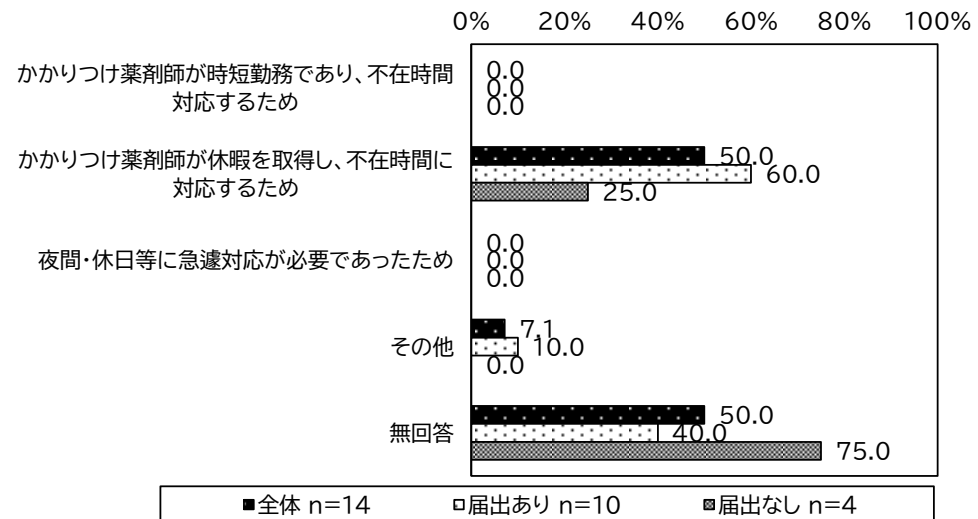
＜服薬指導料の特例かかりつけ薬剤師と連携する場合＞（報告書p183,185）

- かかりつけ薬剤師指導料のうち、服薬指導料の特例の算定回数を見ると、以下のとおりであった。
- 「服薬指導料の特例（かかりつけ薬剤師と連携する他の薬剤師が対応した場合）の算定」と回答した場合（14施設）、かかりつけ薬剤師と連携する他の薬剤師が対応する理由を尋ねたところ、「かかりつけ薬剤師が休暇を取得し、不在時間に対応するため」が50.0%であった。

図表 2-215 かかりつけ薬剤師指導料等の算定状況の分布
 ＜かかりつけ薬剤師指導料のうち、服薬指導料の特例の算定回数
 （かかりつけ薬剤師と連携する他の薬剤師が対応した場合）
 地域支援体制加算の届出有無別＞



図表 2-218 かかりつけ薬剤師と連携する他の薬剤師が対応する理由
 （「服薬指導料の特例（かかりつけ薬剤師と連携する他の薬剤師が対応した場合）」の算定ありの施設）
 （地域支援体制加算の届出有無別）

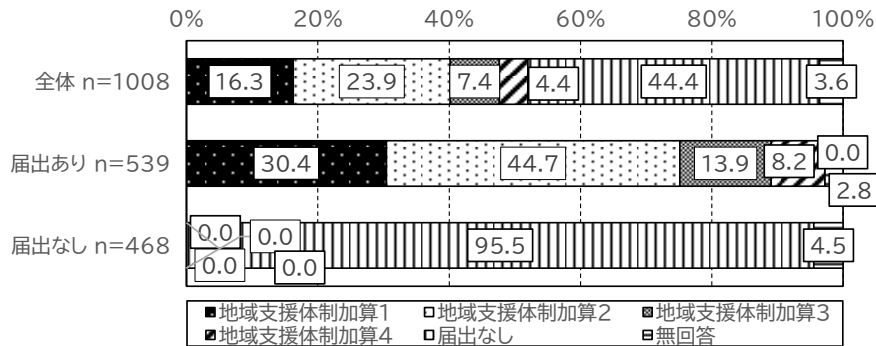


保険薬局調査の結果⑥

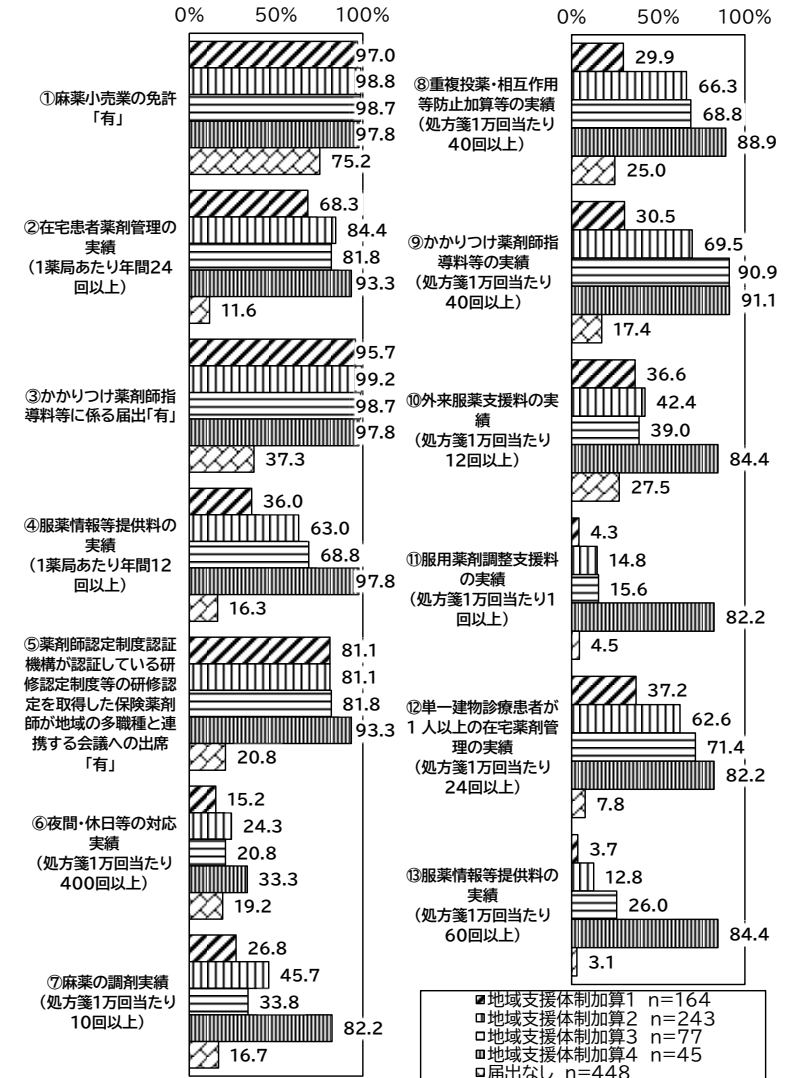
＜地域支援体制加算の届出状況等＞（報告書p190,197）

○ 地域支援体制加算の届出状況について、地域支援体制加算の届出あり施設を1,000施設、届出なし施設1,000施設を調査対象としていたが、回答結果としては「地域支援体制加算1」の届出施設は16.3%、「地域支援体制加算2」の届出施設は23.9%、「地域支援体制加算3」の届出施設は7.4%、「地域支援体制加算4」の届出施設は4.4%、地域支援体制加算の「届出なし」は44.4%であった。

図表 2-223 地域支援体制加算の届出状況
(地域支援体制加算の届出有無別 ※調査対象の抽出条件)



図表 2-230 地域支援体制加算の施設基準の各項目を満たしているか
(地域支援体制加算の内訳別)

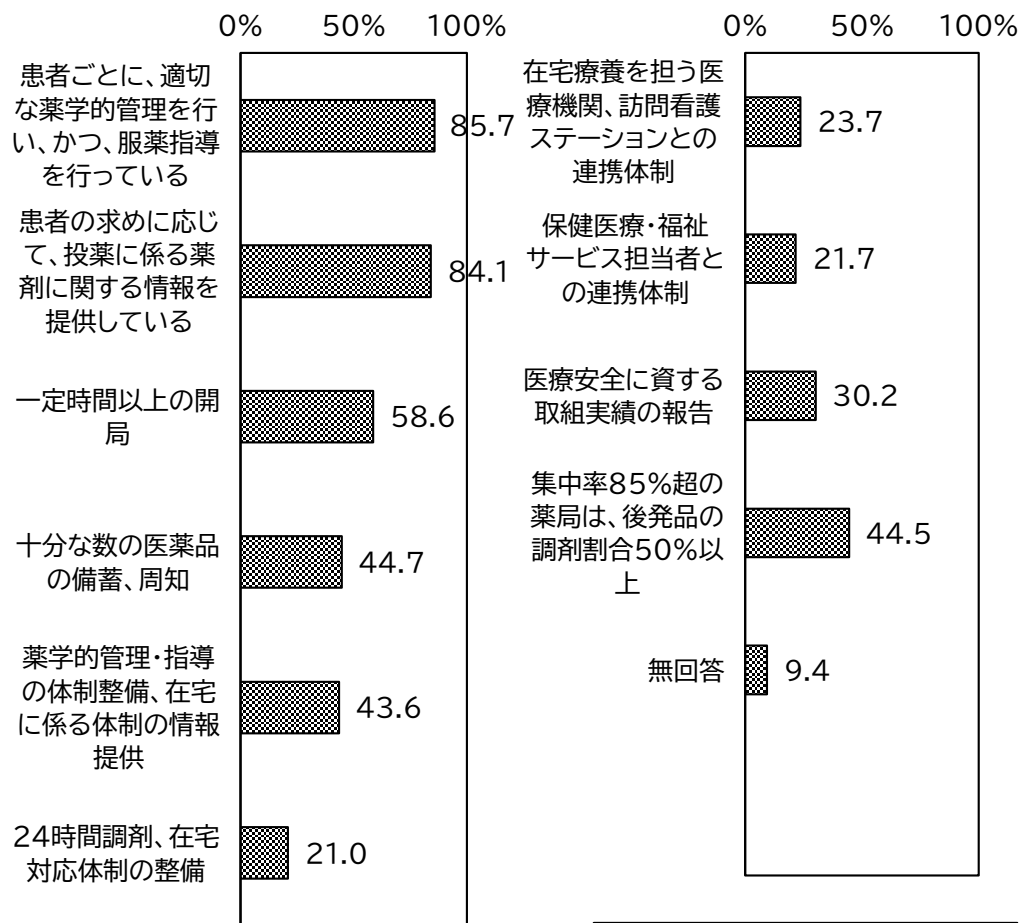


保険薬局調査の結果⑦

＜地域支援体制加算の届出なしの施設の状況＞（報告書p232）

○ 地域支援体制加算の届出なしと回答した施設(447施設)に対して、地域支援体制加算の施設基準のうち、満たしている項目を尋ねたところ、「24時間調剤、在宅対応体制の整備」が21.0%と最も少なかった。

図表 2-269 地域支援体制加算の施設基準のうち、満たしている項目
(地域支援体制加算の届出なしの施設) (複数回答)



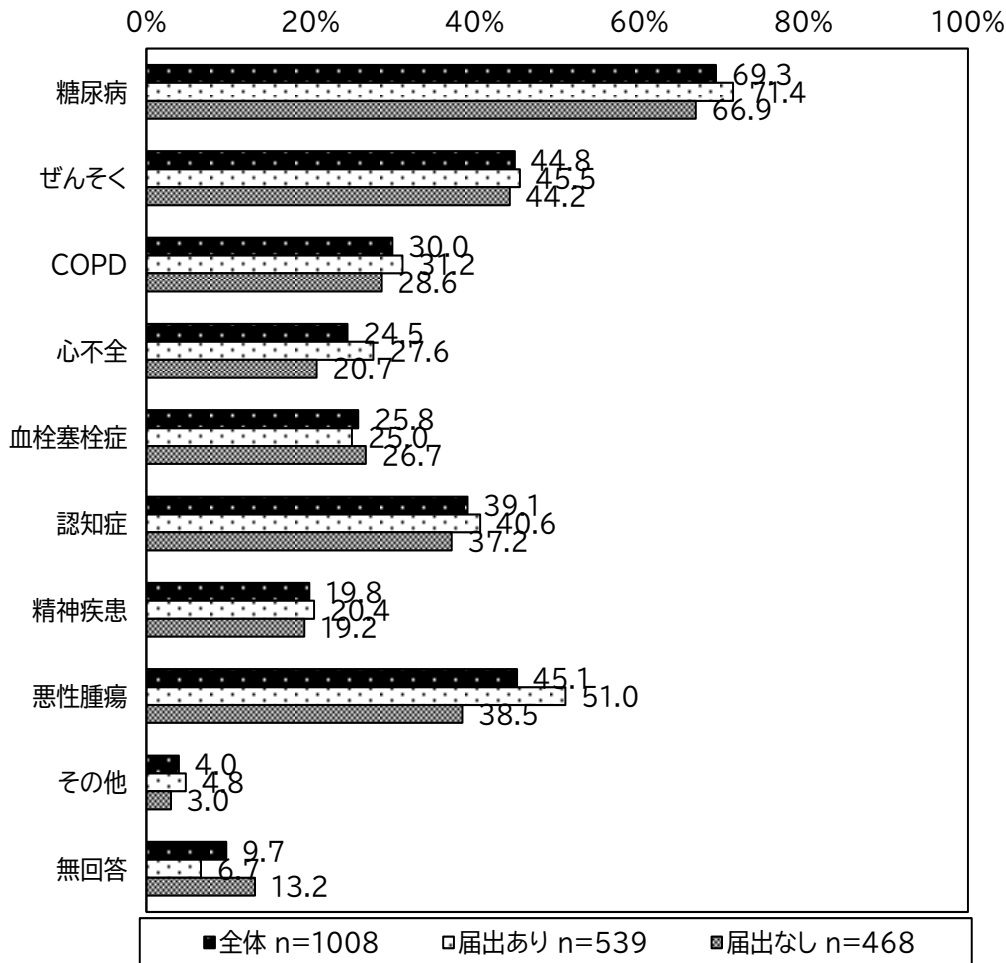
■届出なし n=447

保険薬局調査の結果⑧

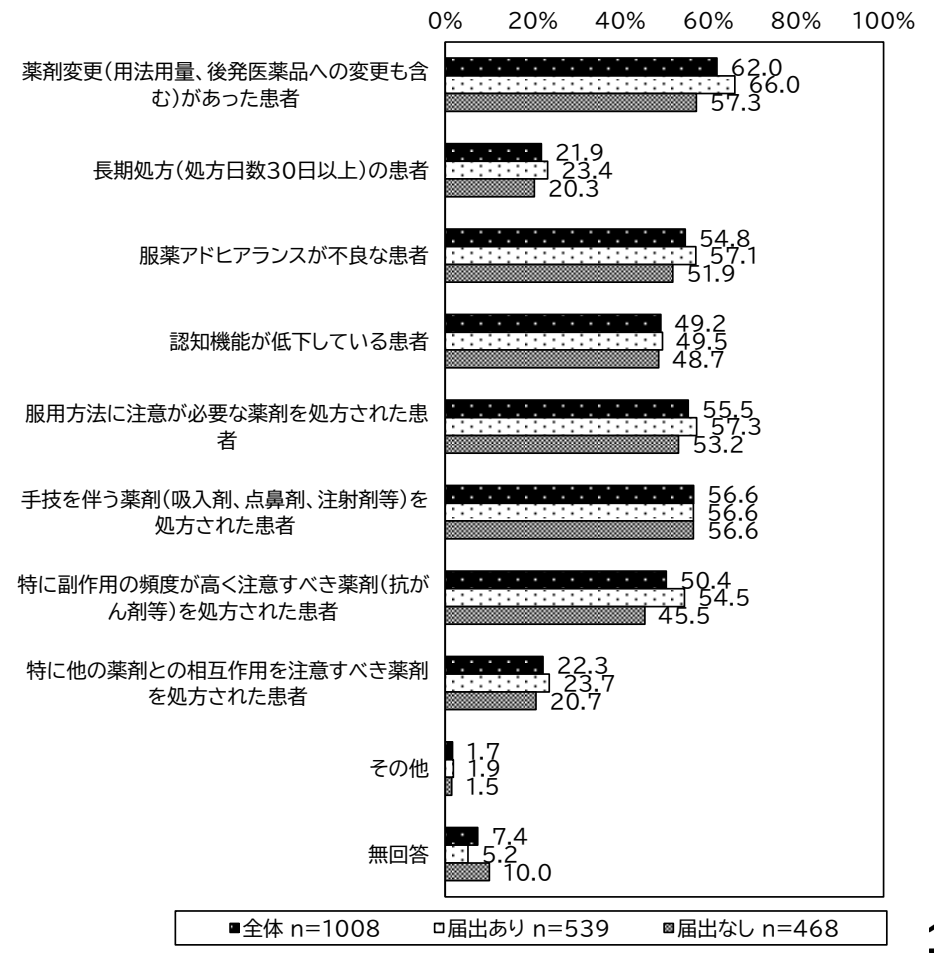
＜調剤後のフォローアップについて＞（報告書p272,274）

○特にフォローアップの必要がある疾患について尋ねたところ、「糖尿病」が69.3%であった。

図表 2-320 特にフォローアップの必要がある疾患（複数回答）
（地域支援体制加算の届出有無別）



図表 2-322 フォローアップの必要がある患者の属性（複数回答）
（地域支援体制加算の届出有無別）

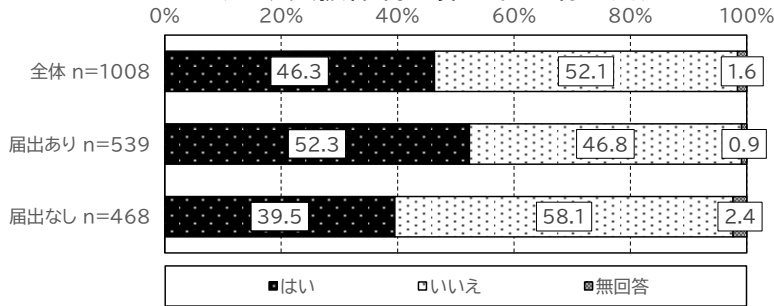


保険薬局調査の結果⑨

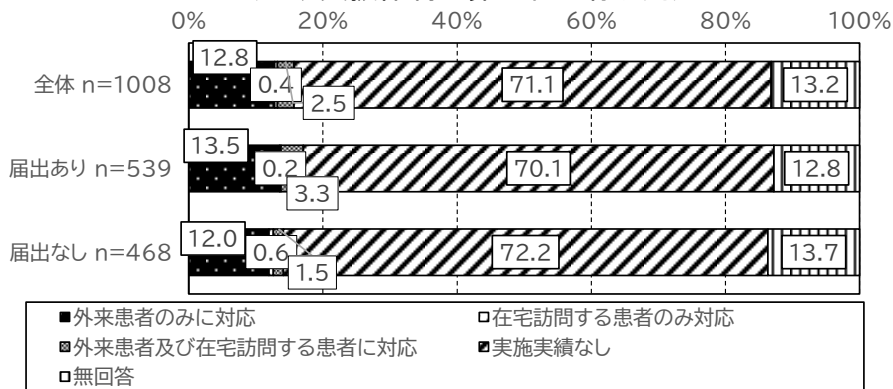
<オンライン服薬指導について> (報告書p287~289)

- オンライン服薬指導の実施体制を整えているか尋ねたところ、「はい」が46.3%、「いいえ」が52.1%であった。
- オンライン服薬指導の実施の実績の有無について尋ねたところ、「実施実績なし」が71.1%であった。
- オンライン服薬指導の実施体制を整えていない場合、その理由を尋ねたところ、「患者からのニーズがない」が52.8%であった。

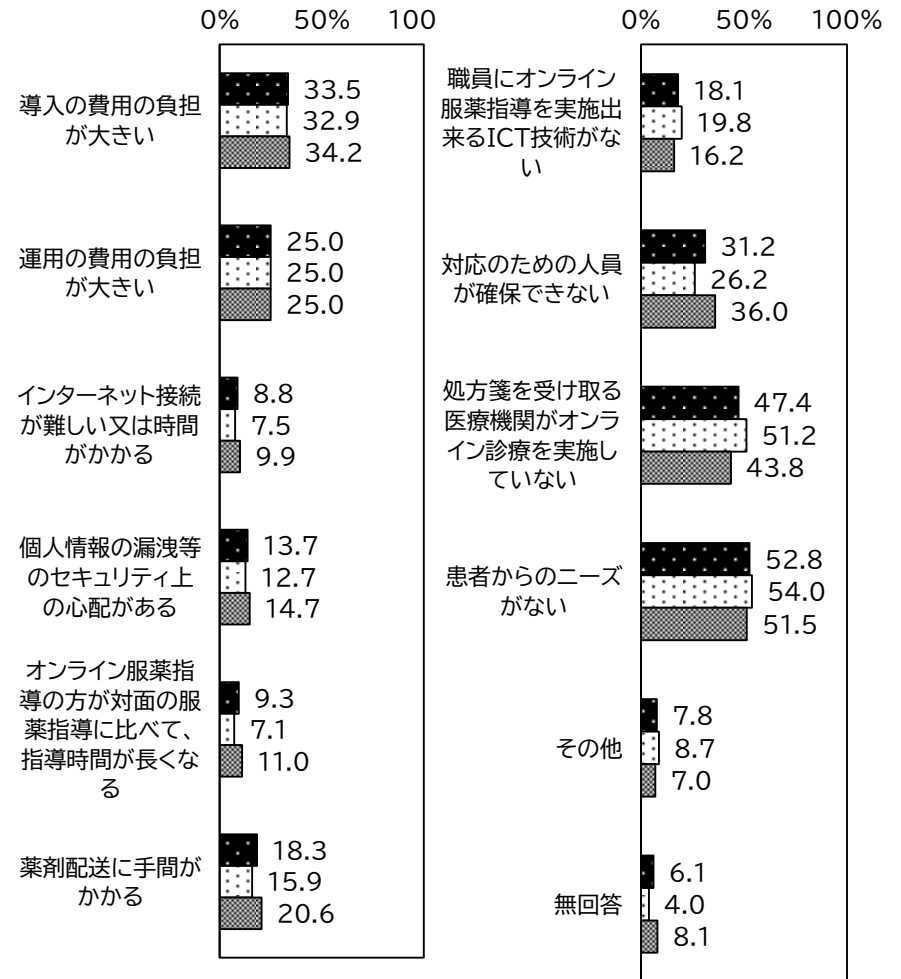
図表 2-336 オンライン服薬指導の実施体制
(地域支援体制加算の届出有無別)



図表 2-338 オンライン服薬指導の実施の実績の有無
(地域支援体制加算の届出有無別)



図表 2-340 オンライン服薬指導の実施体制を整えていない理由
(オンライン服薬指導の実施体制を整えていない場合)
(地域支援体制加算の届出有無別)



■全体 n=525
□届出あり n=252
■届出なし n=272

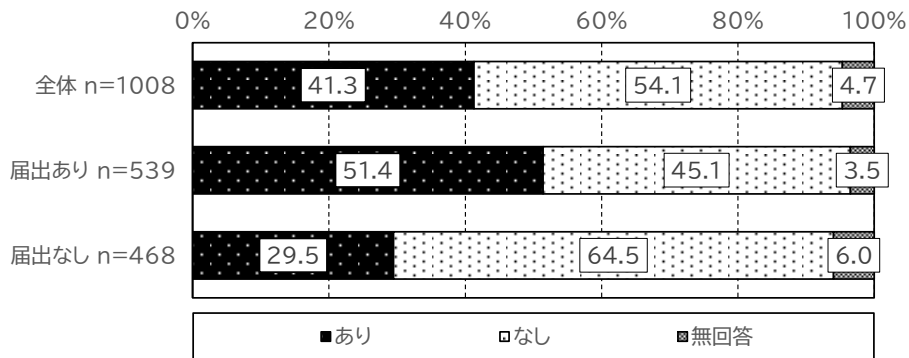
※オンライン服薬指導については、患者がオンライン診療又は訪問診療を受診した場合に限定していない。
また、薬剤師の判断により初回からオンライン服薬指導することも可能としている。

保険薬局調査の結果⑩

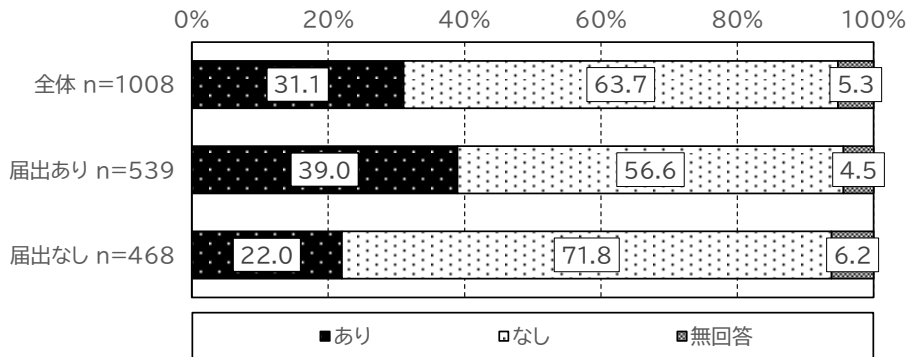
＜医療機関との連携内容＞（報告書p329,330,333）

- 患者が入院を行う際の医療機関への情報提供の有無については、全体で「あり」が41.3%、「なし」が54.1%であった。
- 患者が入院を行う際の処方薬の整理の有無では、全体で「あり」が31.1%、「なし」が63.7%であった。
- 「患者の入退院について医療機関と連携している」と回答した場合（295施設）薬医療機関との連携内容は「お薬手帳による服用薬剤情報の共有」が79.7%であった。

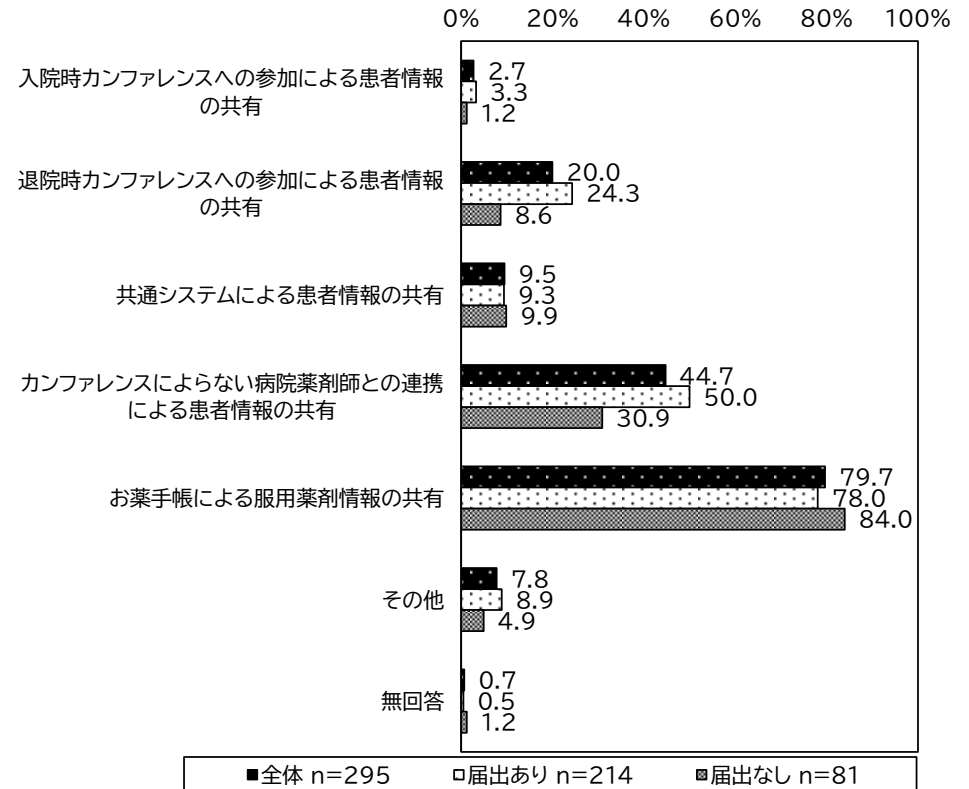
図表 2-389 患者が入院を行う際の医療機関への情報提供の有無
（地域支援体制加算の届出有無別）



図表 2-391 患者が入院を行う際の処方薬の整理の有無



図表 2-396 患者の入退院についての医療機関と連携状況
（「患者の入退院について医療機関と連携している」と回答、複数回答）



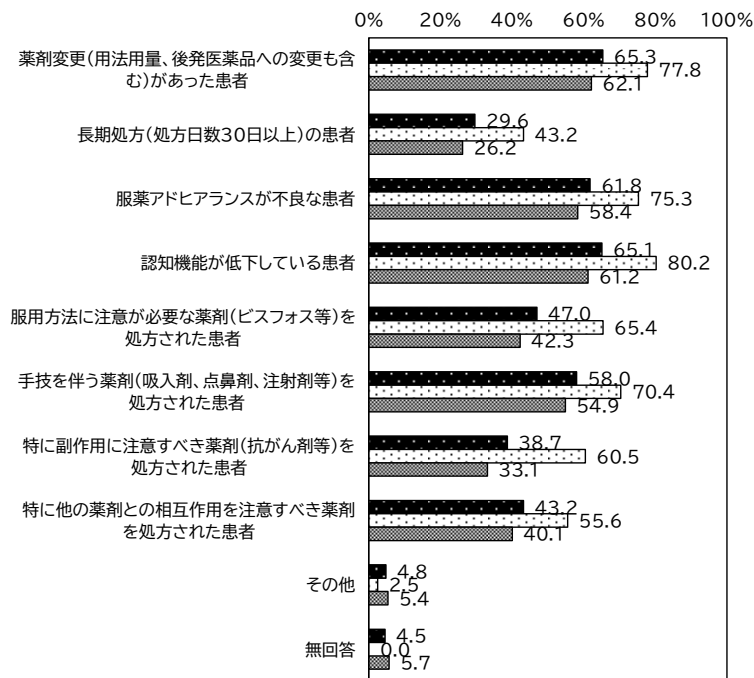
診療所・病院調査の結果⑪

＜調剤後のフォローアップの必要があると考えられる患者の属性＞（報告書p370、436）

○ 薬局での調剤後のフォローアップの必要があると考えられる患者の属性について尋ねたところ、診療所調査においては「薬剤変更(用法用量、後発医薬品への変更も含む)があった患者」が最も多く65.3%であり、病院調査においては「服薬アドヒアランスが不良な患者」が最も多く73.0%であった。

＜診療所調査＞

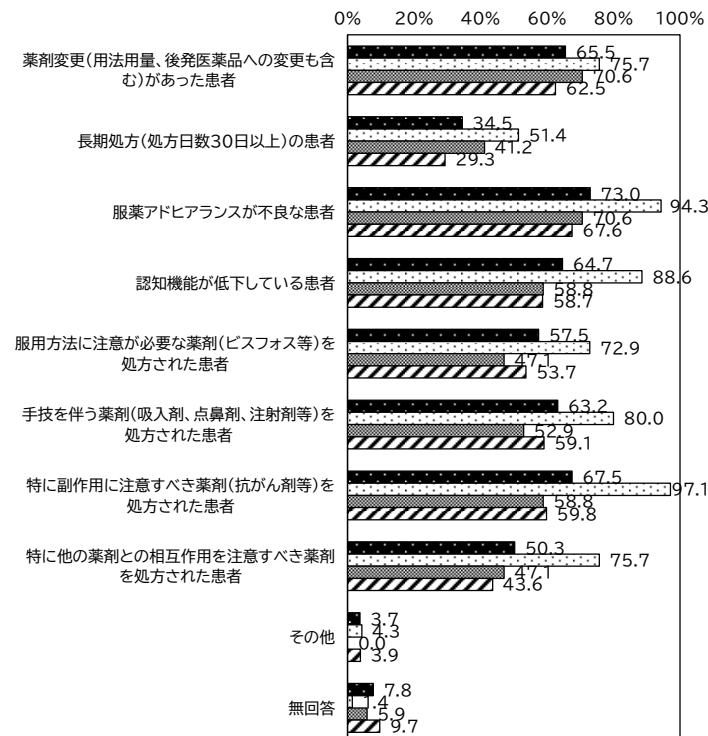
図表 3-70 医薬品の処方・薬局での調剤後のフォローアップの必要があると考えられる患者の属性（複数回答）
（地域包括診療料届出施設／地域包括診療加算または小児かかりつけ診療料届出施設の別）



■全体 n=398
□地域包括診療料の届出施設 n=81
▨地域包括診療加算の届出施設 または 小児かかりつけ診療料の届出施設 n=317

＜病院調査＞

図表 4-73 処方箋を発行した患者のうち、薬局での調剤後のフォローアップの必要があると考えられる患者の属性（複数回答）
（特定機能病院／地域包括診療料の届出病院／上記以外の施設の別）



■全体 n=348
□特定機能病院 n=70
▨地域包括診療料の届出病院 n=17
□上記以外の施設 n=259

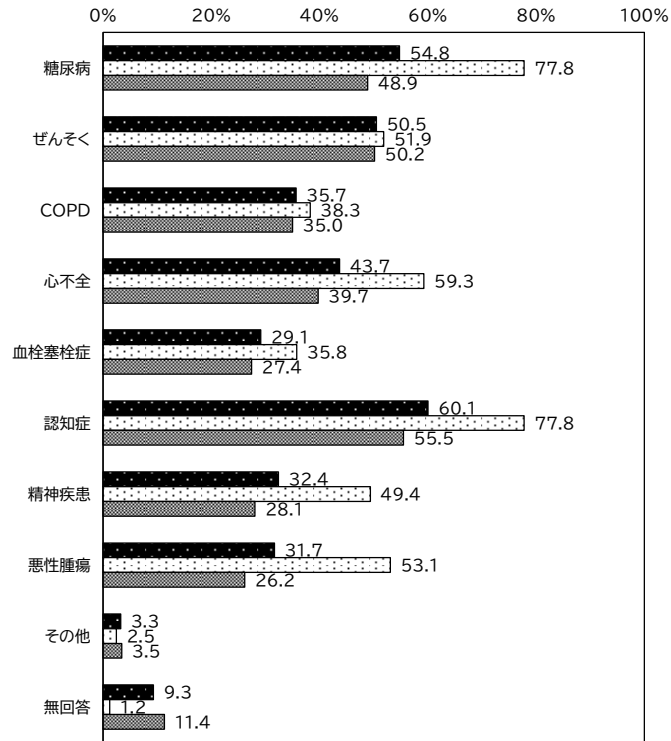
診療所・病院調査の結果⑫

＜調剤後のフォローアップの必要があると考えられる疾患＞（報告書p372、438）

○薬局での調剤後のフォローアップの必要があると考えられる疾患について尋ねたところ、診療所調査において「認知症」が最も多く60.1%であり、病院調査において「糖尿病」が最も多く、70.4%であった。

＜診療所調査＞

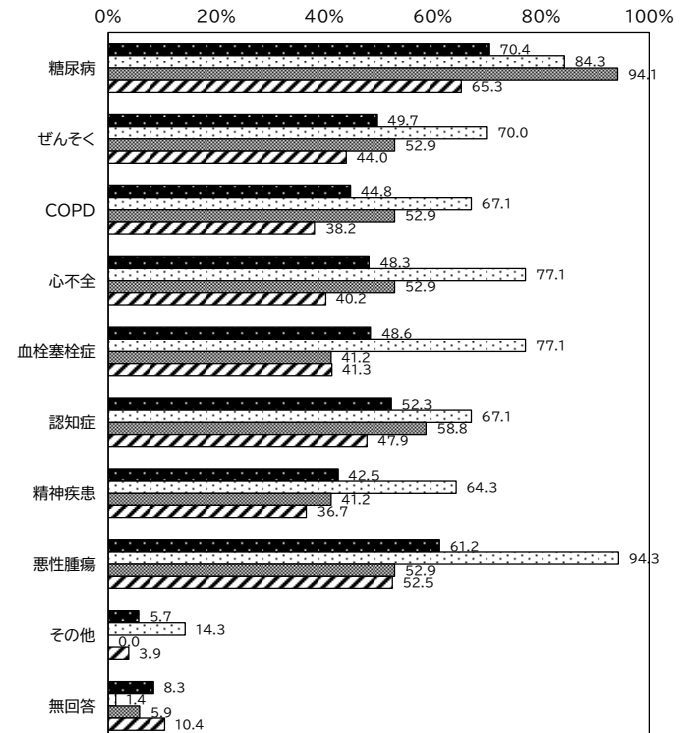
図表 3-72 医薬品の処方・薬局での調剤後のフォローアップの必要があると考えられる疾患（複数回答）
（地域包括診療料届出施設／地域包括診療加算または小児かかりつけ診療料届出施設の別）



■全体 n=398
□地域包括診療料の届出施設 n=81
▨地域包括診療加算の届出施設 または 小児かかりつけ診療料の届出施設 n=317

＜病院調査＞

図表 4-75 処方箋を発行した患者のうち、薬局での調剤後のフォローアップの必要があると考えられる疾患（複数回答）
（特定機能病院／地域包括診療料の届出病院／上記以外の施設の別）



■全体 n=348
□特定機能病院 n=70
▨地域包括診療料の届出病院 n=17
▩上記以外の施設 n=259

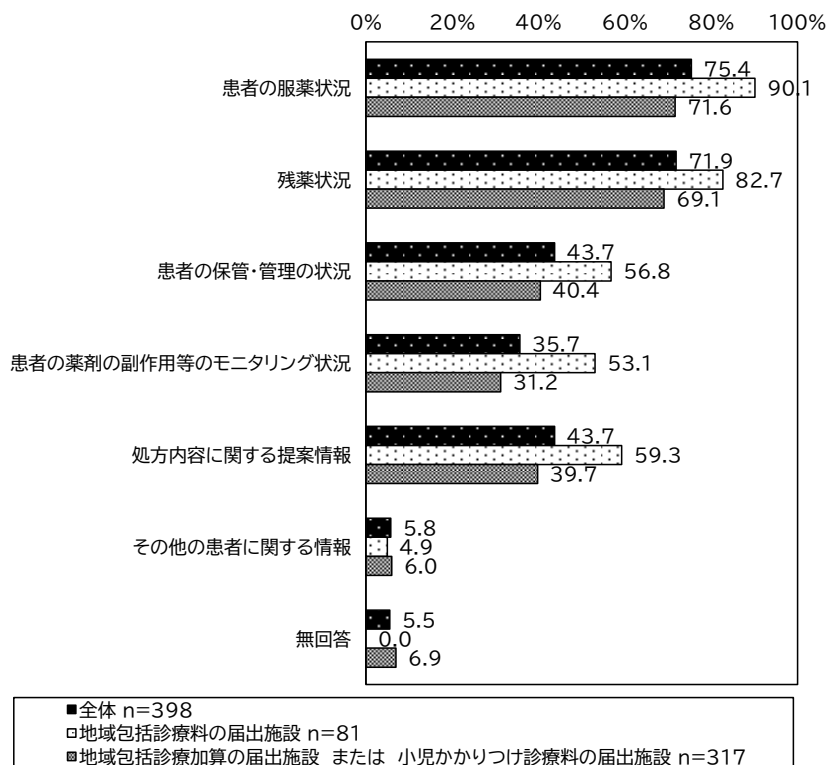
診療所・病院調査の結果⑬

＜フォローアップに関して薬局からフィードバックされる情報のうち診療の役に立つと考えられる情報＞（報告書p374,440）

○ フォローアップに関して薬局からフィードバックされる情報のうち診療の役に立つと考えられる情報について尋ねたところ、診療所調査において「患者の服薬状況」が最も多く、75.4%であり、病院調査において「患者の服薬状況」が最も多く、77.6%であった。

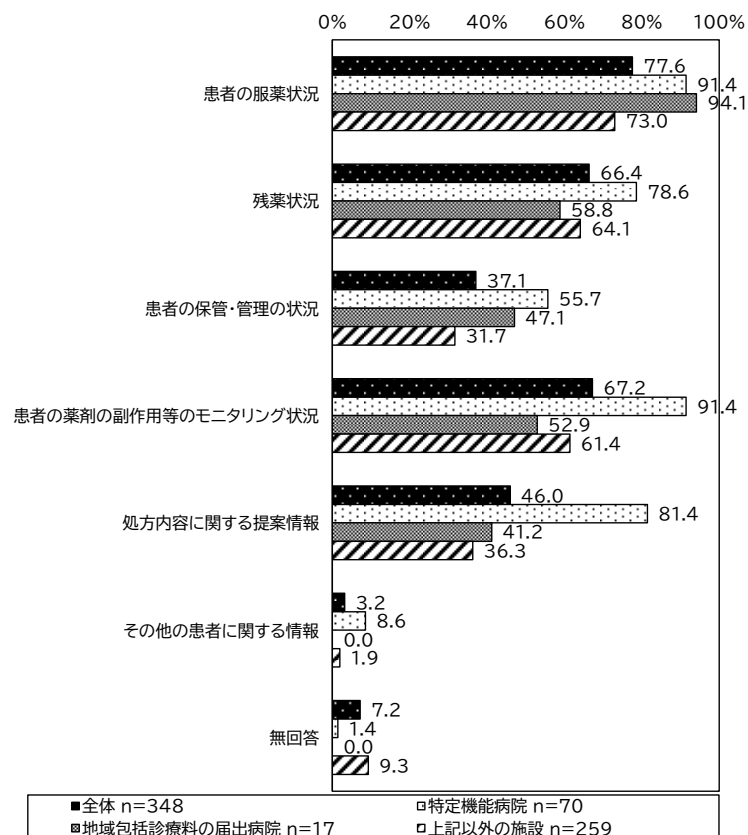
＜診療所調査＞

図表 3-74 フォローアップに関して薬局からフィードバックされる情報のうち診療の役に立つと考えられる情報（複数回答）
（地域包括診療料届出施設／地域包括診療加算または小児かかりつけ診療料届出施設の別）



＜病院調査＞

図表 4-77 フォローアップに関して薬局からフィードバックされる情報のうち診療の役に立つと考えられる情報（複数回答）
（特定機能病院／地域包括診療料の届出病院／上記以外の施設の別）



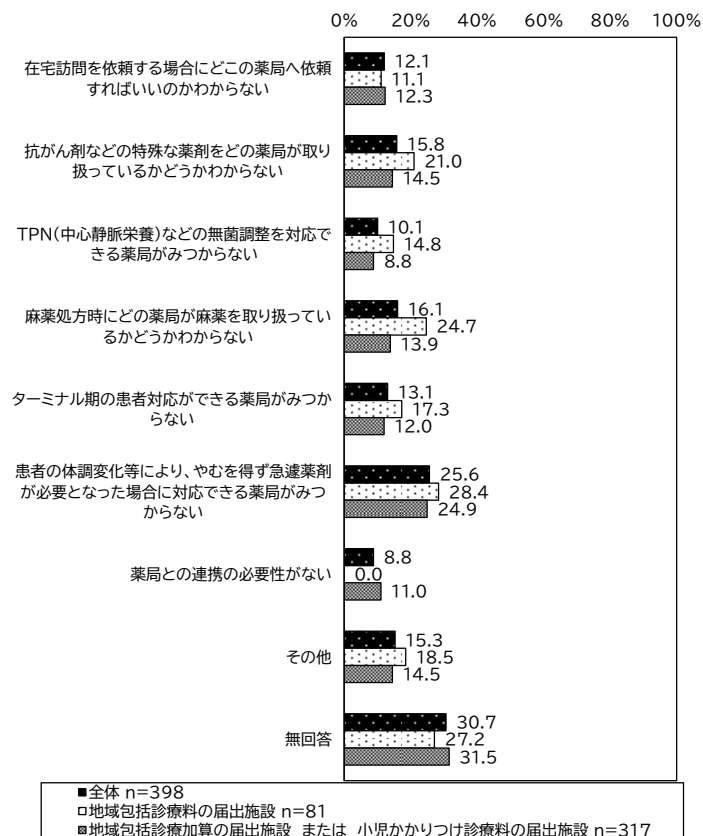
診療所・病院調査の結果⑭

＜薬局との連携の課題＞（報告書p389、476）

- 薬局との連携についての課題について尋ねたところ、診療所調査において「患者の体調変化等により、やむを得ず急遽薬剤が必要となった場合に対応できる薬局が見つからない」の回答割合が最も多く、25.6%であった。
- 患者の退院時における薬局との連携の課題について尋ねたところ、病院調査において「かかりつけ薬局が不明であり、退院時の薬剤の情報を提供する相手が見つからない。」の回答割合が最も多く、49.1%であった。

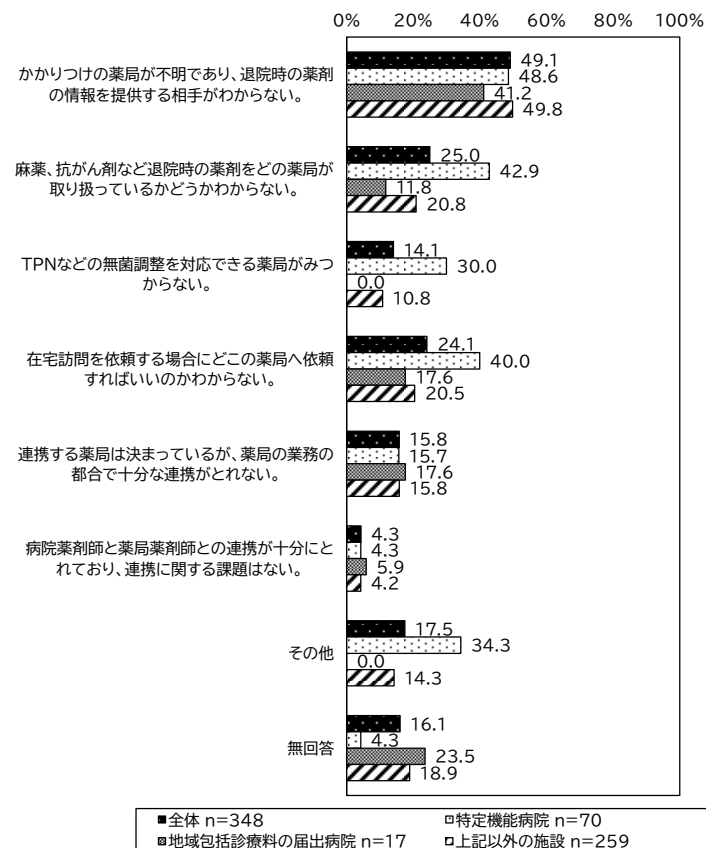
＜診療所調査＞

図表 3-91 薬局との連携についての課題(複数回答)
(地域包括診療料届出施設／地域包括診療加算または小児かかりつけ診療料届出施設の別)



＜病院調査＞

図表 4-124 患者の退院時における薬局との連携の課題(複数回答)
(特定機能病院／地域包括診療料の届出病院／上記以外の施設の別)



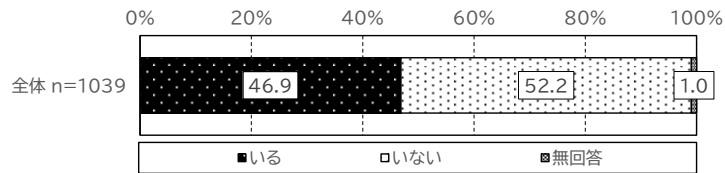
患者調査の結果①

<かかりつけ薬剤師> (報告書p520,523)

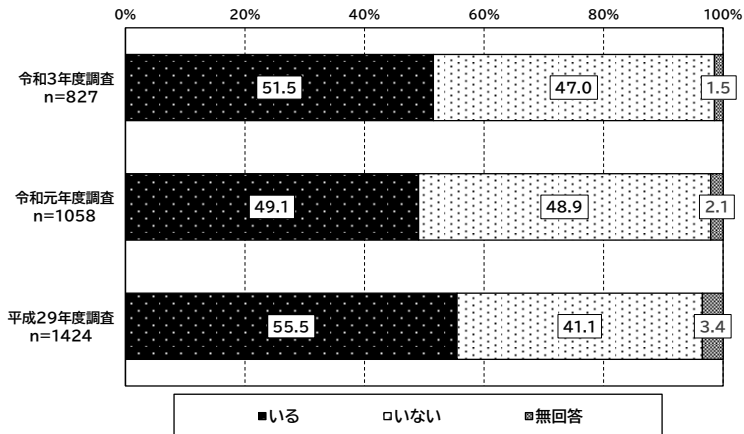
○ かかりつけ薬剤師の有無について、「いない」が52.2%であった。

○ かかりつけ薬剤師がいる患者について、かかりつけ薬剤師に相談したことがある内容は「薬の効果に関する相談」が62.8%と最も多かった。

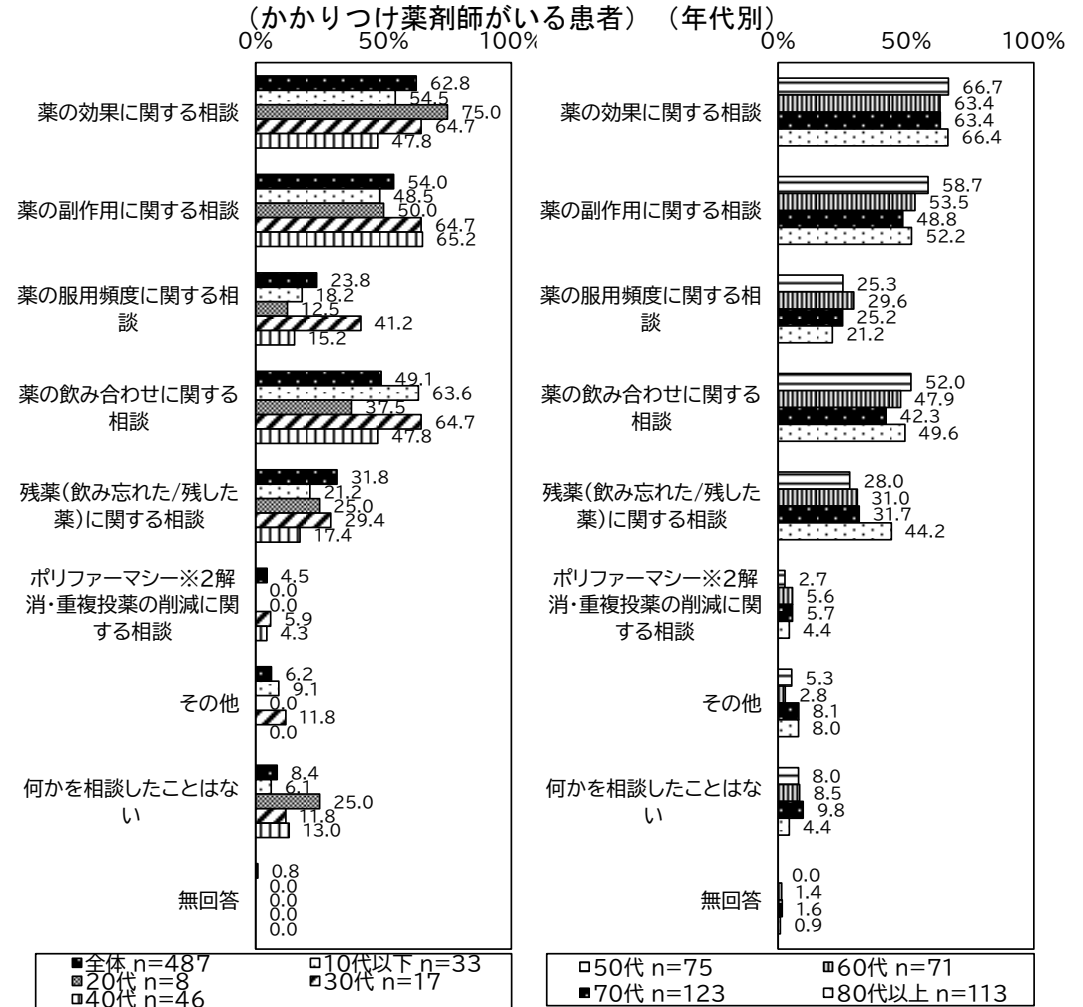
図表 5-48 かかりつけ薬剤師の有無



図表 5-49 (参考 令和3年度調査) かかりつけ薬剤師の有無 (調査年度別)



図表 5-53 かかりつけ薬剤師に相談したことがある内容 (複数回答)

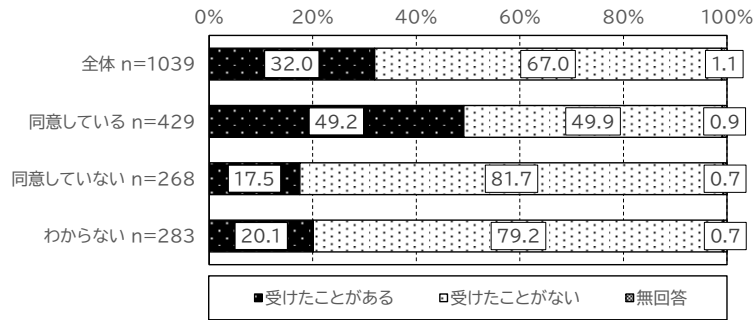


患者調査の結果②

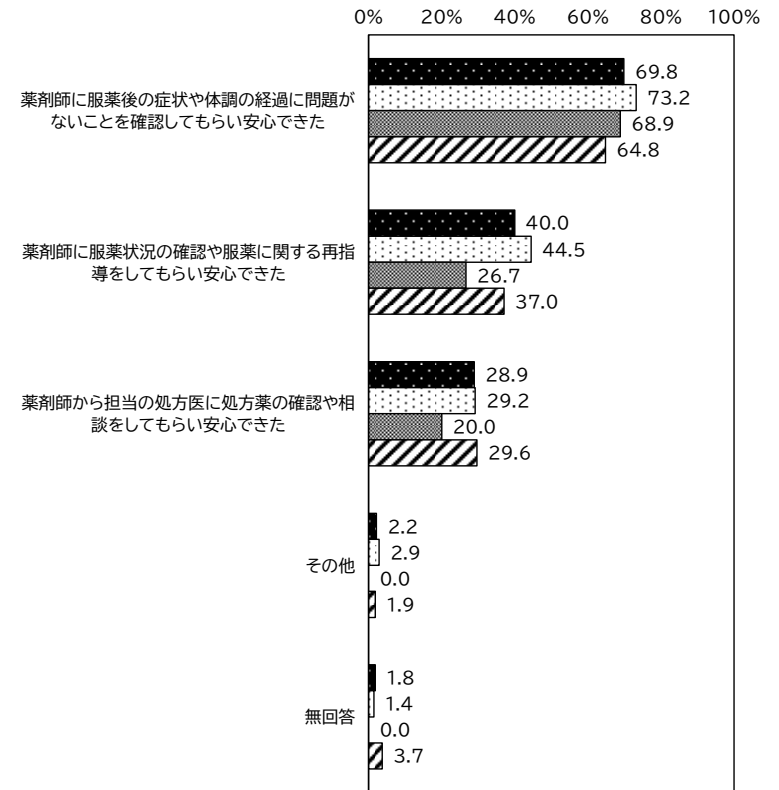
<服薬期間中のフォローアップ> (報告書p511,513,514)

- 薬剤師からの服薬期間中のフォローアップ経験は「受けたことがない」が67.0%であった。
- 服薬期間中にフォローアップを受けたことがある患者に対して、どのような薬剤の場合に薬剤師にフォローアップをしてほしいかについて尋ねたところ「副作用が心配される薬が処方された場合」が23.3%で最も多かった。
- 服薬期間中にフォローアップを受けたことがある患者に対して、服薬期間中にフォローアップを受けてよかった点を尋ねたところ「薬剤師に服薬後の症状や体調の経過に問題がないことを確認してもらい安心できた」が69.8%で最も多かった。

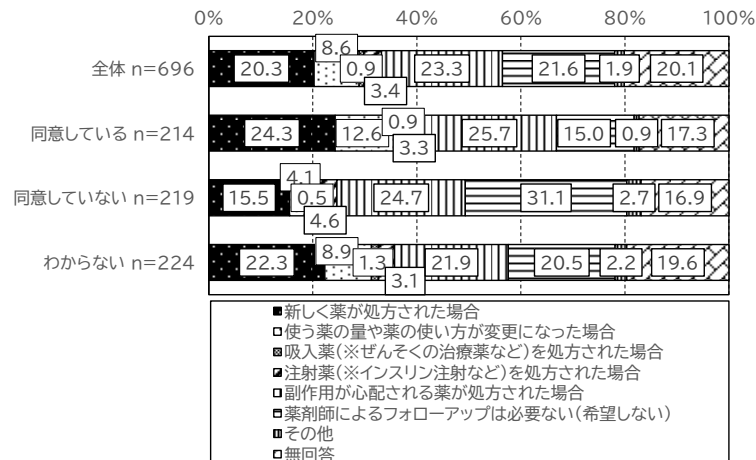
図表 5-34 薬剤師からの服薬期間中のフォローアップ経験
(かかりつけ薬剤師指導料の同意有無別)



図表 5-37 服薬期間中のフォローアップを受けてよかった点
(服薬期間中にフォローアップを受けてよかったと回答した患者)
(かかりつけ薬剤師指導料の同意有無別)



図表 5-38 どのような薬剤の場合に薬剤師にフォローアップをしてほしいか
(服薬期間中にフォローアップを受けたことがある患者)
(かかりつけ薬剤師指導料の同意有無別)



■全体 n=325 □同意している n=209 ▨同意していない n=45 ■わからない n=54